

令和4年度 第2回豊橋市図書館協議会 会議要録

日時	令和4年11月4日（金） 10:30～12:00
場所	豊橋市中央図書館 3階集会室
委員	出席定数12名 8名出席
事務局	11名
議事	議題 (1) 令和3年度決算概要、図書購入・サービス指標、事業実績について 報告事項 (1) 令和4年度利用者アンケート調査集計結果について (2) まちなか図書館の取り組みについて
配付資料	議題 (1) 令和3年度決算概要、図書購入・サービス指標、事業実績について 豊橋市図書館基本構想 進捗中間報告（令和元年度～3年度実績） 報告事項 (1) 令和4年度利用者アンケート調査集計結果 (2) 豊橋市まちなか図書館～知と交流の創造拠点の実現に向けた取り組みについて～

<議事概要>

(事務局)

本日の会議は、委員の半数以上の出席があり、会議は成立している。

議題

(1) 令和3年度決算概要、図書購入・サービス指標、事業実績について

事務局より、配付資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

【委員】

まちなか図書館が開館することにより図書館に対する市民の認知度が高まった。まちなか図書館の利用者が多いが、それ以外の図書館も今までどおり頑張ってもらいたい。それぞれの図書館にあったコンセプトでイベントなどを考えてほしい。

来館者数が令和3年度90万6千人であった。令和7年度180万人という大きい目標を挙げた、やる気がある職員が多く、もっともっと図書館を市民にとって身近なものにしてい

ってほしい。

(事務局)

まちなか図書館は盛り上がっているが、今後マンネリ化しないよう企画に興味を持っていただけるようにしていきたい。各図書館がそれぞれの魅力を発信して目標の 180 万人に近づけていきたい。

【委員】

コロナ禍という特殊事情で事業を進めてきた知恵を生かして進めていってほしい。とよはしアーカイブは貴重な財産だと思う。インターネットで閲覧できるか？

(事務局)

インターネットで閲覧できる。図書館、文化財センター、美術博物館の資料が入っている。今年度は二川宿本陣資料館の資料が入る。自宅に居ながら資料を閲覧できる。

【委員】

学校と連携できれば、教科書だけでなく、こういった貴重な財産を子どもたちが見て成長していける。こういった財産を継承していけるのはいいことだと思うので、続けていってほしい。

【委員】

出前講座の「図書館ってこんな事できるの！？ ～図書館の活用法教えます～」が依頼なく未実施だったが、内容はどのようなものか？

(事務局)

図書館の利用方法を全般的にご説明するものであり、出前講座の依頼がなかった。

出前講座もそうだが、レファレンスについてもサービスを知らない人がいる。募集するにあたり皆さんの心に響くよう PR していきたい。

報告事項

(1) 令和4年度利用者アンケート調査集計結果について

各委員より以下の意見・質問があった。

【委員】

図書館ごとにすみ分けられて進んでいるように思う。

【委員】

図書館はもともとインプットする場だが、利用者がアウトプットする場を幅広く設けて
いってほしい。まちなか図書館は表現できる場を設けているが、他の図書館も外部との連
携も含め、もっともっと数多く作ってほしい。

利用者は周辺居住地の方が多いが、機能で特徴を出していけば、それ以外の地域の方も
利用されると思う、双方向の利用につながると思う。

(事務局)

各館それぞれに特徴がある。中央図書館、まちなか図書館は、周辺居住地のみならず市
内全域から利用されている。

まちなか図書館でも中央図書館でも外部連携をしている。また、知の伝道師という登録
者がトークイベント、ワークショップなどで活きた情報を発信する仕組みを昨年度設け、
現在登録者が20件を超えている。今後も連携を進めていきたい。向山図書館は配本機能や、
分室とのつながりで取り組みを進めていきたい。大清水図書館は地域の拠点として南高校
等との連携を今後も進めてきたい。

【委員】

利用者が不満な理由を把握しているか

(事務局)

アンケートで不満な理由を記入してもらい把握に努めているほか、意見箱を用意し、様々
な意見を把握し、対応している。

また、イベント後にみなさんの意見をお聞きして活かすようにしている。

(2) まちなか図書館の取り組みについて

各委員より以下の意見・質問があった。

【委員】

まちなか図書館は、遅くまで開館しているため、職員はがんばりすぎないようにしてほ
しい。

【委員】

まちなか図書館は外部との連携を行っており、すごくいい。中央図書館も老舗として、子どもにもっと来館してもらえるよう、考えながら進めていってほしい。

【委員】

「ひととつながり、まちとつながる」というコンセプトから、ぶれずに行われてきたと思う。それぞれの図書館がそれぞれ役割を担っているのは市として誇れるものである。

【委員】

まちなか図書館は明るくてさわやかないいところである一方、高校生のたまり場となっているという意見があるが、私は前者の意見である。

図書館研究会で、都合が合えば、まちなか図書館見学ツアーを行いたい。

【委員】

まちづくりの視点で見ていくと、まちなか図書館が開館し、交流人口が増え、市街地が活性化したことで、空き店舗が減っている。テーマに関係する中心市街地の企業やお店の情報を発信できれば、まちなか、店への動線がつながるのでいいと思う。

【委員】

アンケートの満足度が高い。まちなか図書館だけでなく、それ以外の図書館も職員サービスの評価が高く誇れる。

今後、大改修にあたり、新しい図書館のどこの部分が市民から評価されているか注目して市民のニーズや評価されているポイントを掘り起こしてほしい。

大清水図書館の回答者に、女性の割合が多いのはトイレがいいからなのかと思った。

【委員】

まちなか図書館は市民協働推進課と連携した事業を行うため、週1回程度使用している。人が怖くて学校にいけない子が学校に行けるようになり、人生を好転させる場となっている。

目標180万人に向かって、アナログの良さに注目してもいい。

市内だけでなく名古屋など大都市の関連イベントにのっかって情報発信してもいいのではないか。

大学生は就職活動のためにボランティアを行いたいケースはあると思うので、連携が進むのではないか。

【委員】

高校の生徒はまちなか図書館を多く利用している。いろいろなことを行い豊橋市の魅力につながっている。無理なく持続可能な形で続けてほしい。

まちなかレファレンスの利用が少なかったのは気になった。

【委員】

まちなかの魅力を維持しながら文化の発信をしてほしい。